

みはらし

健康フェスタ会場の様子



所沢美原総合病院





▲ mama'co. FAMILY DANCE STUDIO

▲ 雅 SUPER SESSION × 龍鼓



▲ 所沢北高等学校 吹奏楽部

▲ 所沢北高等学校 音楽部



所沢美原総合病院

健康

フェスタ



▲ 所沢中央高等学校 書道部

令和6年11月25日に開院1周年を迎え、病院への理解や支援をしてくださる地域住民の方々に、日頃の感謝の意を込めて当院主催の健康フェスタを開催しました。

内容としてはステージイベントを中心として健康関連ブースや飲食ブース、キッズコーナーなどをご用意しました。

当フェスタは開始から大盛況であり、11時から14時までの3時間の開催時間でしたが、約2,000名もの方々にご来場いただきました。

今回の健康フェスタにおいて、地域の皆さまと当院職員が交流する機会となり、職員のことや病院の雰囲気を感じてもらい、安心して所沢美原総合病院の医療を受けてもらえるようになったかと思えます。イベントへのご参加、誠に有難うございました。

★ ステージイベント スケジュール

11:00	オープニング(和太鼓) 雅 SUPER SESSION × 龍鼓
11:15	開会の言葉 院長 鈴木 昭一郎
11:20	ご来賓挨拶 美原町 町会長 山崎 修央 様
11:30	ダンス mama'co. FAMILY DANCE STUDIO
12:05	合唱 所沢北高等学校 音楽部
12:25	書道パフォーマンス 所沢中央高等学校 書道部
12:45	演奏 所沢市立美原中学校 吹奏楽部
13:05	よさこい 所沢よさこい隊「天嘉」
13:30	演奏 所沢北高等学校 吹奏楽部
14:00	閉会の言葉 副院長 上野 陽介



▲ 所沢よさこい隊「天嘉」



▲ 所沢市立美原中学校 吹奏楽部

所沢美原総合病院

第1回 医療連携会の報告

近隣地域の医療従事者を招待し、所沢市民文化センターミュージズにて、第1回 医療連携会を開催しました。

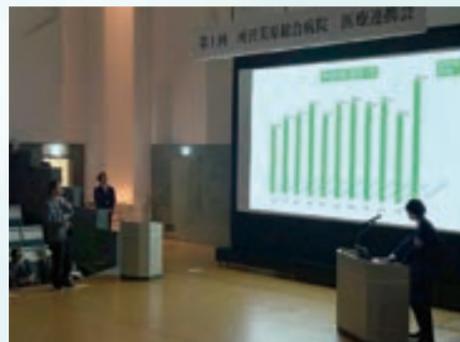
令和6年11月6日に行われました医療連携会では、瓜生田理事長による所沢美原総合病院のコンセプトについての説明に始まり、鈴木病院長による所沢美原総合病院の設立から現在までの実績紹介がありました。

また、宮成医師により手術支援ロボット(ダヴィンチ)を使用した手術の特別講演を行いました。

開院当初より、急性期病院として「断らない医療」を実践してきた中で、多くの救急車を受け入れてきたことに、会場に参加された方も関心を持って聴講されているようでした。



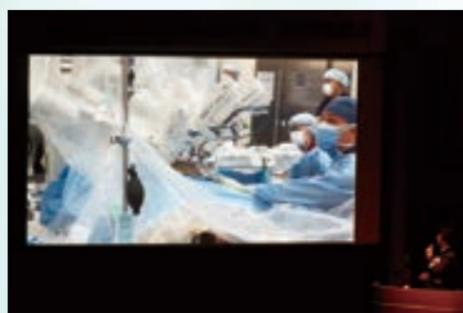
▲ 瓜生田理事長による病院コンセプトの説明



▲ 鈴木病院長による所沢美原総合病院の実績紹介

その後の懇親会では、地域の病院・クリニックからの参加者と意見交換が活発に行われ、また親睦も深められました。

今後も、当院の「志は高く、敷居は低く、懇切丁寧に」を病院理念として、一人一人の患者さまを大切にされた患者中心の、安全で質の高い医療を提供する病院を目指していきます。



▲ 宮成医師によるロボット手術の説明



▲ 懇親会の様子

開院1周年を迎えて

実績DATA

令和6年1月～12月



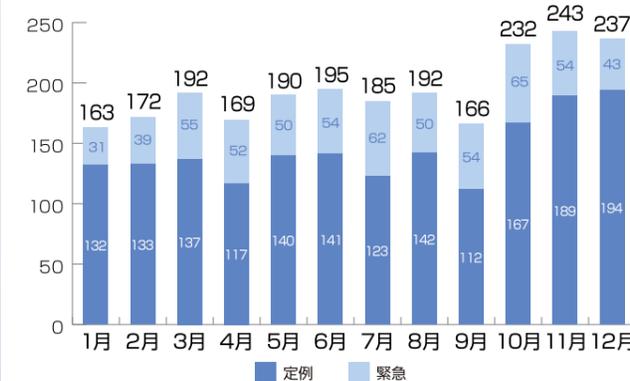
新規入院患者数

年間 **6,642名**

月平均 **553.5名**

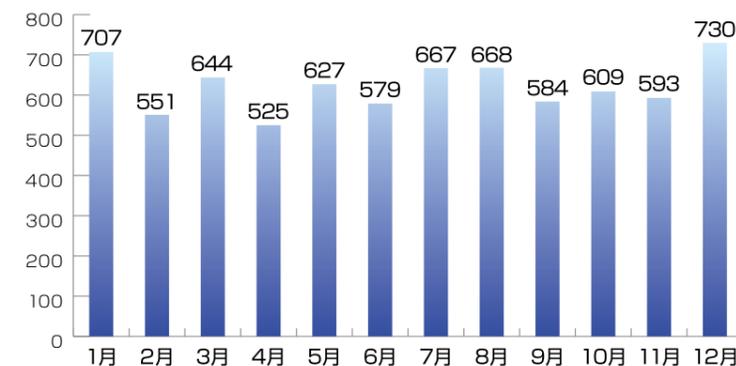


年間手術件数 **2,336件**



救急車受け入れ件数

7,484件



1日平均
外来患者数
※土日・祝日を除く

187.5件

入院患者
平均年齢

77.2歳

在宅復帰率
※ICU・HCUを除く

91.7%

平均在院日数

11.6日

第21回 関東KG 学術大会の報告

リハビリテーション科&看護部 金賞銀賞W受賞

令和6年9月28日、千葉県の八千代リハビリテーション学院にて、第21回関東KG(カマチグループ)学術大会が開催されました。当法人関東圏内17病院、全34演題の中から、当院のリハビリテーション科が金賞、看護部が銀賞を受賞し、当院が開院してわずか一年の間に金銀W受賞という快挙を見事に成し遂げましたので、ここにご報告します。



所沢美原総合病院 学術大会参加者一同で記念撮影



金賞受賞

リハビリテーション科

演題名

「本当に Barthel Index 評価は正しく出来ていますか？」

2024年度のリハビリテーションに関する診療報酬改定により、患者のADL評価の1つであるBarthel Indexの正確性が求められているかと思えます。

この度、当院のBarthel Index評価の実態について調査した結果、環境面や医療行為を考慮した評価内容について、認識が低い傾向であることが示唆されました。今後はこれらの評価内容に焦点を当てた勉強会を行い、Barthel Index評価の認識をより高めていきたいと思えます。

所沢美原総合病院の記念すべき金賞第一号をこの手で持ち帰ることができて嬉しく思います。



理学療法士



銀賞受賞

看護部

演題名

「多職種連携により合併症なく腹臥位療法、栄養管理が功を奏した症例」

私が所属しているHCU(高度治療室)では、人工呼吸器管理が必要な患者さまが数多くいらっしゃいます。今回、肥満により窒息し人工呼吸器管理となった患者さまの症例検討を行いました。多職種と連携することで有害事象なく腹臥位療法、栄養管理を行うことができ、呼吸状態改善・肥満改善することができました。

初めての学術大会参加でとても緊張しましたが、見事銀賞を受賞することができました。今回の学びを通して、日々の業務に活かしていきたいです。



看護師



令和6年「救急医療に貢献した功労者」として
院長 鈴木昭一郎が
知事表彰を受賞しました



功績内容

- 平成元年より所沢明生病院の外科部長として就任以来34年にわたり積極的に救急患者の受け入れを行ってきた。
- 平成7年4月より所沢明生病院の院長に就任し、二次救急医療機関として50床と限られた病床の中で、「断らない救急」を掲げ救急車を積極的に受け入れてきた。
- また、コロナウイルス感染症流行当時、医療がひっ迫している状況であったため、コロナ患者を受け入れていく方針を示し、発熱外来、入院受け入れ(最大20床)を積極的に行い、地域の感染対策に貢献してきた。
- 氏は、令和5年11月に、所沢明生病院の移転に伴い、所沢美原総合病院の院長に就任した。所沢美原総合病院は「志は高く 敷居は低く 懇切丁寧に」を基本理念に、開院後は年間約7,000台のペースで救急車を受け入れており、氏は今後も救急医療に尽力したいと決意を新たにしているところである。
- 資性篤実にして協調性に富み、徳望は極めて厚い。また、不断の研究と旺盛な責任感をもって医療にあたり、しかも、患者に対しては優しく誠意ある態度で診療に臨み、患者のみならず地域住民の敬愛と信望を得ている。
- 活動歴 34年11か月(令和6年9月2日現在)

立ち上げました 医療連携センターを



医療連携センターのメンバー

医師2名・社会福祉士4名・看護師9名・理学療法士1名・事務7名

医療連携センター長よりご挨拶

この度、医療連携センター長を拝命いたしました、副院長の森崎善久と申します。

当院は、令和5年11月25日に所沢明生病院と狭山中央病院が合併し、221床の急性期病院として開院いたしました。当院の基本方針である「断らない救急医療」のもと24時間・365日、多くの救急車を受け入れ、多くの患者さまの診療を行ってまいりました。医療連携センターは、この地域において当院の医療機能を十分に発揮していく為に、近隣の医療機関等との連携を推進していく部署であり、今後当院および地域において重要な部署であると考えています。

今後も近隣の病院、診療所および介護施設との医療連携業務を円滑にし、皆さまより信頼される医療連携センターとして業務をしていく所存です。

今後も何卒、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

医療連携センター長 森崎 善久

医療連携センターについてのご案内

医療連携センターは、当院と他の医療機関等との連携を円滑に行えるよう以下の業務を行っております。

- ① 他院よりご紹介いただいた患者さまの外来受診および入院を調整する前方支援業務
- ② 患者さまの他院、施設等への転院調整や在宅で安心して生活ができるよう退院支援をする後方支援業務
- ③ 医療相談窓口業務(患者さまやご家族、他の医療機関からの医療相談の対応)
- ④ 広報活動業務(医療連携会、健康教室・研修会の開催、医療連携に関する情報発信、情報収集等)

これらの業務を通じて、地域の皆さまに最適な医療サービスを提供できますよう、地域の医療機関等との更なる医療連携の推進をしていきたいと考えております。

医療連携センター 部長 住谷 弘晃

所沢美原総合病院 広報誌

Vol. 4

みはらし

令和7年2月発行



社会医療法人社団 埼玉巨樹の会

所沢美原総合病院

〒359-0045 埼玉県所沢市美原町2丁目2934-3
<https://tmgh.jp/>

TEL 04-2997-8199

FAX 04-2997-8196



電車ご利用の場合 西武新宿線「新所沢駅」東口下車 徒歩8分

バスご利用の場合 新所沢駅東口 西武バス乗車
「所沢市民体育館」バス停下車 目の前

タクシーご利用の場合 西武新宿線「新所沢駅」東口より約5分